



花高通信

校長版

12月号

岩手県立花泉高等学校

岩手県一関市花泉町花泉字林の沢17-9

TEL 0191-82-3363 FAX 0191-82-5448

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>

花泉の魅力と課題を探究！～高校魅力化促進事業～

花泉高校の魅力化促進事業『いいこと・いいとこ・いいひと』発信の取材・体験活動を12月2日（木）に実施しました（一部は12月6日実施）。

高校魅力化促進事業は、地域振興の課題に対して花高生が高校生の目線で取り組む探究学習として昨年度から始まったものですが、今年度は全校生徒が10グループに分かれてそれぞれテーマを設定し、一関市役所花泉支所ほか地域の方々のご協力を得ながら学習を進めています。

取材・体験活動は8月下旬に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期になっていました。日程変更により、ご協力いただいた方々にはご迷惑をおかけすることになりましたが、生徒たちは取材や体験を通して、それぞれが設定したテーマについて考察を深めることができました。

現在、生徒たちは校内で取材・体験活動のまとめを行っており、令和4年1月21日（金）の発表会で探究の成果を披露します。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

テーマと協力団体・訪問先等

- 1 花泉の防災（防災） 一関南消防署
- 2 食品製造（企業） 須藤食品
- 3 地元製造業（企業）
ナガシマ製作所、日本端子、KMF
- 4 介護（介護） いこいの華
- 5 鶏舞保存（芸能） 花泉鶏舞保存会
- 6 学童・保育（子育て）
マルキの家、花泉保育園
- 7 ナス生産農家（農業） 千葉琢磨氏
- 8 花泉の歴史（歴史）
佐々木繁喜氏、熊谷眞平氏
- 9 千葉胤秀（歴史）
山川純一氏、千葉胤秀旧宅
- 10 花泉の水道（建築・土木）
近藤設備工業



「千葉胤秀」



「花泉の水道」



「花泉の水道」



「学童・保育」



「学童・保育」



「鶏舞保存」



「地元製造業」

防災・減災の担い手に！

秋季の防災訓練が11月11日（木）の5、6校時に行われました。防災訓練は春と秋の2回実施していますが、今回は県地域防災サポーターの塚本清孝先生を講師にお招きし、HUG（避難所運営ゲーム）を用いて避難所運営訓練を行いました。

HUGは平成19年に静岡県が開発した防災ゲームで、縦割りで14の班に分かれた生徒たちは、多様な人々に対して配慮のある避難所運営を行うためにはどのような視点が必要なのかをゲームを通して体験しました。



中学校と高校の連携を深めるために～中高連絡協議会～

12月3日（金）、令和3年度の「中高連絡協議会」が開催されました。

中学校と高校で学びと指導の連続性をより高めていくことを目的として毎年行っているもので、当日は一関市と宮城県栗原市の4校の中学校の先生にご参加いただき、1年A・B組合同の「コミュニケーション英語Ⅰ」の授業参観のあと、意見交換会を行いました。

授業は2～3名の小グループに分かれ、自分の好きな国や行ってみたい国について英語で発表するというもので、工夫を凝らしたパワーポイントのプレゼンテーションを見て、中学校の先生方も高校入学以降の生徒の成長を実感していたようです。



ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止教室

12月8日（水）、1年生を対象に「薬物乱用防止教室」が行われました。

大麻や覚醒剤など乱用薬物に対する正しい知識を持つことで薬物乱用防止を啓発するとともに、心身の健康維持・増進に「お薬手帳」を活用できるようにすることを目的に、学校薬剤師の阿部淳子先生から約50分の講話をいただきました。

薬物乱用は心身に深刻な悪影響を及ぼし、最悪の場合は死に至ることもあります。また、薬物乱用は乱用者自身の問題となるだけでなく、家庭の崩壊や重大な犯罪の原因にもなり、社会全体の問題へと発展します。

講話では、酒やタバコなど依存性の高い嗜好品のリスクについても説明していただきました。心身の健康は自分で守る、という意識を高めていきたいものです。



後期生徒総会開催

11月25日（木）に後期生徒総会が開催されました。

今回は生徒会、部活動、委員会の活動報告が行われ、生徒会執行部からはクラスマッチ、生徒会役員選挙、花高祭についての振り返りがあり、各部からは大会結果や活動状況についての報告がありました。

このあとは大きな生徒会行事はありませんが、7月の生徒会役員選挙で信任された11名の執行部を中心に、全校生徒が校内外の活動に積極的に取り組んで行くことを期待しています。



学校ホームページを
ご覧ください！

<http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>
「花泉高校の現在」から学校案内のほか、YouTubeにリンクされた動画で、魅力化促進事業の取材の様子も見るができます。

校訓『知行合一』入門

第4回 「知行合一」と「不善」

陽明学の「知行合一」は善悪や是非の判断、道徳や倫理観についての考え方なので、現代の「知識」や「行動」にそのまま当てはめようとするとうまくいきませんが、「知」と「行」を二つに分けた悪い例として王陽明が述べた次の説明は、本来の趣旨を理解するのに役立ちそうです。

* * * * *

あるよくない思い（＝不善）が心の中に生じてても、行動に移していないから問題はない、考えるだけならばよいと思うのは誤りである。少しでも心が動けば、それが「行」なのだ。だから、よくない心の動きが起きそうになったときは、それを克服し、わずかでもそのような心の動きが起きないように努めることが大切なのだ。



* * * * *

「知」と「行」を一致させることはとても難しいですね。